

監査結果の公表(その2)

令和2年度定期監査(その2)を実施した結果の概要を次のとおり公表します。

茂原市監査委員 風戸 博恭
茂原市監査委員 竹本 正明

◆監査の対象

・市民部
生活課、市民課、国保年金課、健康管理課

・福祉部
社会福祉課、障害福祉課、高齢者支援課、子育て支援課

・経済環境部
農政課、商工観光課、環境保全課

◆監査の期間

令和2年10月16日から12月22日まで

◆監査の場所

茂原市役所

◆監査の方法

各所管の財務事務及び事務

事業が適正かつ計画的、効果的に執行されているか、住民福祉の増進に努め最少の経費

で最大の効果を挙げ、組織及び運営の合理化に努めているかに主眼を置き、提出された資料・関係諸帳簿を調査するとともに説明を聴取することにより実施した。

◆監査の結果

財務に関する事務については、関係法令等に基づき、適正に執行されていると認められた。また、事務事業については、新型コロナウイルスの影響により若干の遅延、変更はあるものの、おおむね順調に執行していると認められた。

勤務に関する諸帳簿については、全課において多数の誤記等が認められたため、各職員への諸帳簿等に係る処理方法の周知徹底及び誤記等の発生防止に向けた対策の検討を

求めた。

◆意見

事務事業の執行状況に関する意見は次のとおりであるので、検討のうえ一層適切に事務事業が執行されるよう要望する。

共通

・職員一人ひとりが、日常業務における課題を認識し、課題解決に向けた目に見える数値的目標を掲げ鋭意取り組むことで、業務の改善・推進が図られ事業の成果が得られる。成果を積み重ね、事業を推進していくことが、より良い行政運営ひいては市民福祉の向上につながることを念頭に業務に取り組まれたい。

・新型コロナウイルスの影響により、実施できなかった事業や形式を変更して実施した事業が見られることから、来年度の事業実施にあたっては、改めてその目的や意義を確認し、実施方法や時期などについて検討し対応を図られたい。

生活課

・自転車による重大事故の発生により、被害者、加害者双方に大きな負担が生じる事例もあることから、自転車保険加入促進のため様々な手法を検討し加入率の向上に努められたい。

・市民と行政の協働によるまちづくりの推進については、市民活動の裾野が広がるよう広く市民の声を聴き、多くの人が積極的に関わり、多くの人々が積極的にまちづくりに参加できる環境を整えるとともに、継続的な市民活動のための方策を検討し事業推進に努められたい。

市民課

・窓口業務については、単なる日常業務として捉えることなく常に市民目線に立ち、窓口環境の整備や親切丁寧な接客に努められたい。

・毎年実施している窓口アンケートについては、寄せられた市民の意見、要望を分析し積極的に業務に反映させるとともに、市民の満足度向上のための取組について検討し、更なる市民サービスにつなげられたい。

国保年金課

・安定的な国民健康保険事業の運営と被保険者の負担軽減の観点から、国民健康保険財政調整基金や繰越金の活用も考慮しながら総合的な視点に立ち、適正な国民健康保険税について検討されたい。

健康管理課・保健センター

・新型コロナウイルスに係る対応において、各種の感染防止対策を講じてきたが、ワクチン接種の開始も想定されることから、今後も遺漏のないよう取り組まれたい。また、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時感染拡大も視野に入れた対応について、茂原市長生郡医師会等と連携し早急に検討されたい。

・核家族の増加や地域のつながりの希薄化などにより、